

科目名 (科目番号)	医療英語	教員名 石垣 明子	学科等	学部共通	選択	履修年次	1
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	講義	オフィスアワー	火・5 B323研究室	
授業概要	医療特有の専門用語を用いて英語で会話をしたり、説明をしたりプレゼンテーションする力を育成することを主眼とする。近年、外国人就労者や外国人観光客の増加に伴い、医療機関においても、世界共通の言語として英語でオペレーションする機会が増えてきている。特に、日本に居住する外国人にとって、医療機関で英語を使用して診療について説明し、病状を理解できる医療人は必要不可欠な存在であろう。本授業では医療機関における様々な場面を想定し、実践的な力を養う。						
目的・目標	目的:医療の場における患者との会話を英語で行う力を養う。 目標:医療の場における患者との会話を様々な場面でスムーズに行うことができる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	医療現場で求められる英語	到達目標:医療人に求められる英語力の水準と場面を理解させる。 学習内容:医療現場で求められる英語の場面を考える。				
	2	First visit to hospital 演習場面:初診	到達目標:外国人にも理解できるように初診の内容を英語で表現する。 学習内容:初めて病院を訪れた外国人に英語で初診の案内をする。				
	3	Physical Complaints 演習場面:病状の把握	到達目標:英語で病状の詳細な様子を報告する力をつける。 学習内容:英語で病状の把握をし、診察室へ案内する。				
	4	Medical examination 演習場面:問診	到達目標:専門用語を用いて、必要な検査について英語で表現する。 学習内容:医師の指示に従って、様々な検査をすることを英語で伝える。				
	5	Giving directions 演習場面:院内案内	到達目標:実際に学内の施設を英語で案内する力をつける。 学習内容:院内を英語で案内する。				
	6	Consultation with a doctor 演習場面:医師の診察	到達目標:専門用語をわかりやすく英語で伝える力をつける。 学習内容:検査の結果を英語で伝える。				
	7	Emergency 演習場面:緊急医療	到達目標:緊急時に必要な医療英語について学習する。 学習内容:緊急時の医療現場を想定した英語の会話を行う。				
	8	Hospitalization 演習場面:入院	到達目標:入院患者に対する思いやりのある英語力を養う。 学習内容:入院をした患者に対する英語の言葉がけを演習する。				
	9	Daily life in hospital 演習場面:入院生活	到達目標:入院生活で必要となる英語を学習する。 学習内容:入院生活を送る患者に対して適切な言葉がけを英語で行う。				
	10	checking vital signs 演習場面:バイタル測定	到達目標:バイタル測定時に必要な英語力を養う。 学習内容:バイタル測定のための英語による演習を行う。				
	11	Meal at hospital 演習場面:院内食事	到達目標:入院生活の特に食事時における必要な英語力を養う。 学習内容:入院時の食事で必要な英語による演習を行う。				
	12	Taking medication,etc, 演習場面:薬の服用など	到達目標:薬の服用時や放射線検査時などに必要な英語を学習する。 学習内容:薬の服用時などの患者に必要な医学的配慮を英語で表現する。				
	13	Being discharged from hospital 演習場面:退院	到達目標:退院時に配慮すべき事柄について必要な英語を学習する。 学習内容:退院時に必要な英語による演習を行う。				
	14	アメリカの医療現場における英語	到達目標:アメリカの臨床現場の実際と必要な英語力を理解する。 学習内容:アメリカの臨床現場における英語を学習する。				
	15	今後の医療と英語(まとめ)	到達目標:グローバル社会における医療英語の必要性を理解する。 学習内容:グローバル社会における必要な医療英語について考える。				
成績評価の方法・基準	対面時およびオンライン時:毎時の演習課題(50%)＋毎時の会話課題(50%)						
教科書	毎時プリントをオンラインで配付します						
参考図書							
教員からのメッセージ	毎時の演習課題、レポート課題の評価については、別途評価表(ルーブリック)を授業で提示します。						